

防災推進国民大会 2023 日本医師会セッション

関東大震災発災 100 年シンポジウム

「関東大震災発災から 100 年 ～未来に活かされるべき教訓～」

趣旨

災害大国と言われるわが国では、いつまた大きな災害が起きるか分からない状況にある。本年は関東大震災の発災から 100 年になるが、改めて過去の災害から教訓を学び、今後起きる可能性が高いと言われている南海トラフ大震災、首都直下型地震や日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等の地震災害にどのように備えていくかを考える。

特に防災、減災の観点から、現在の都市部に人口が集中したまちづくりやハード面のリスク、平時から各自がどのような備えをするべきか、また、実際に災害が発生した際に、避難所で起こりうる健康問題やその対策、避難者が自ら気を付けることなどについて、講演とディスカッションをしていただく。

また医師会の取組みについても知っていただくため、日本医師会や、関東大震災で被災した東京都医師会・神奈川県医師会の取組みについてもご紹介する。

なお、関東大震災 100 周年のシンポジウムとして収録する動画の一部を防災推進国民大会のオンラインセッションとして配信する。当該動画は、2023 年 9 月 17 日（日）、18（月・祝）に開催される防災推進国民大会 2023 で配信され（日医セッションは 9 月 17 日（日）12:30～14:00）、YouTube の日本医師会公式チャンネルにもアーカイブとして掲載を予定している。

防災推進国民大会（ぼうさいこくたい）

自助・共助の重要性が国際的な共通認識とされた「仙台防災枠組 2015-2030」（2015 年 3 月「第 3 回国連防災世界会議」にて採択）を踏まえて発足した防災推進国民会議の他、防災推進協議会、内閣府の三者主催によるイベント。

国民の防災に関する意識向上を目的とし、様々な省庁、地方自治体等の公的機関、団体、企業、非営利法人が出展、セッションを行う。今回で 8 回目の開催であり、日本医師会も毎回出展してきた。今回の開催地は神奈川県。

主催者の一つである防災推進国民会議は、2016 年に設置され、各界各層の有識者をもって構成し、中央防災会議会長（内閣総理大臣）が開催するもの。日本医師会長が議員に就任している。

防災推進国民大会 2023 日本医師会セッション

関東大震災発災 100 年シンポジウム

「関東大震災発災から 100 年 ～未来に活かされるべき教訓～」

収録日：2023 年 7 月 13 日（木）

16 時 00 分～18 時 30 分

会場：日本医師会館

※関東大震災発災 100 年のシンポジウムとして収録する動画の一部を防災推進国民大会のオンラインセッションとして配信する。

開会

挨拶 松本 吉郎 日本医師会長

パネリスト

- 福和 伸夫 氏(名古屋大学名誉教授／あいちなごや強靱化共創センター長)
「温故知新と居安思危で大規模災害を乗り越える」
- 石井 美恵子 氏(日本災害医学会理事／国際医療福祉大学大学院教授)「より快適な避難所・避難生活への備え」
- 大木 聖子 氏 (慶應義塾大学環境情報学部准教授)
「防災を通して、よりよい今日を創るよりよい組織・人を育むー学校における避難訓練研究を例に一」

指定発言 細川 秀一 日本医師会常任理事

ディスカッション

久保田 毅 神奈川県医師会理事

総括 茂松 茂人 日本医師会副会長

閉会